

Road to FRANCE

1998フランスW杯アジア最終予選グループB

1997年9月7日(国立)
対ウズベキスタン

1997年9月17日(アブダビ)
対UAE

1997年9月28日(国立)
対韓国

1997年10月9日(アルマトイ)
対カザフスタン

1997年10月11日(タシケント)
対ウズベキスタン

1997年10月26日(国立)
対UAE

1997年11月1日(ソウル)
対韓国

1997年11月8日(国立)
対カザフスタン

3位決定戦
1997年11月16日(マレーシア)



11日17時 タシケント・パフタコールスタジアム
 ム 晴れ 観衆4万人 主審 ムジャリ 副審 アブドゥラ ハッサン

日刊スポーツ

NIKKAN SPORTS

9月7日
 日曜日
 1997年
 (平成9年)

日本 6 { 4 0 } 3 ウズベキスタン

前半4分【日】 P K 11 三浦知 R
 前半23分【日】 ⑤相馬 ⑦ 三浦知 R
 前半40分【日】 ⑤城 ③⑩ 中田 R
 前半44分【日】 ⑤三浦知 ⑦ 城 L
 後半11分【ウ】 ⑩シユクイリン ⑧ 三ツツイフ R
 後半19分【日】 ⑤ ⑪ 三浦知 R
 後半24分【ウ】 P K 11 三ツツイフ R
 後半32分【ウ】 ⑥バザロフ ⑥ 三ツツイフ H
 後半35分【日】 ⑤中 西 ⑥ 三浦知 L

S	後半	前半	前半	後半	S
0	川口(20) GK (1) プガロ	0
1	L 名良橋(2) DF (2) ダフレトフ	0
0	中 西(28) (3) フヨードル	R	1
0	相馬(3) (15) モモトフ L	1
0	井原(4)	0
0	小村(5)	0
0	秋田(17)	0
0	山口(6) MF (7) ハサノフ L R	2
3	R R 中田(8) (6) シャリポフ	0
0	R (8) レベデフ R	H R	3
0	名波(10) (10) ビニコフ L	1
0	(9) バザロフ	R	1
0	(18) リファエフ H L	2
8	L R	R R 三浦知(11) F W (11) シユクイリン	1	R
0	R L	R R (14) ザハロフ	0
3	R L 城 (18) (4) ジェマルダフ	0
0	R (20) シャツィフ	R H	2
2	L H	0
0	西沢(27)	0
17	本 田(7)	14
		計後前 前後計			
代	西	沢(後13) 13 5 8 GK 6 8 14	代	ジェマルダフ(後1)	1
	中	西(後23) 9 4 5 CK 5 5 10		シャリポフ(後1)	1
	本	田(後35) 10 5 5 F K 11 10 21		バザロフ(後19)	1
		1 0 1 PK 0 1 1			
		49%キープ率51%			

ホームでウズベキ粉砕 中田城も続いたゴールラッシュ

見たか 4発

日本にはカズがいる

ドーハの悲劇から1410日フランスへ前進今度こそW杯

カズが4発でW杯出場の夢をグッと引き寄せた。日本はW杯フランス大会アジア最終予選初戦でウズベキスタンと対戦し、FWカズが前半4分のPKを皮切りに4得点の大暴れ。6-3の圧勝劇での発進を演出した。りさ子夫人が5日に男児を出産していたことも明かになった。家族のために、自分のために、日本のために、エースがゴールめがけて突っ走る。

W杯アジア最終予選B組成績と日程 9月7日現在

	日本	韓国	ウズベキスタン	カザフスタン	UAE	勝点	得失	得失差
日本		9月28日 11月1日	6 - 3 10月4日	11月8日 10月4日	10月26日 9月19日	3	6 3	+ 3
韓国	東 京 ソウル		9月12日 10月18日	3 - 0 10月11日	10月4日 11月9日	3	3 0	+ 3
ウズベキスタン	3 - 6 タシケント	ソウル タシケント		10月25日 9月20日	9月27日 11月2日	0	3 6	- 3
カザフスタン	東 京 アルマトイ	0 - 3 アルマトイ	タシケント アルマトイ		10月18日 9月12日	0	0 3	- 3
UAE	東 京 アブダビ	ソウル アブダビ	タシケント アブダビ	アルマトイ アブダビ		0	0 0	0

【注】日程は上がホーム、下がアウエー

W杯前進UAEと0-0

日刊スポーツ
NIKKAN SPORTS

9月19日
金曜日
1997年
(平成9年)

19日17時40分 アブダビ・ザイードスポーツスタジアム 晴れ 観衆4万人 主審 ナズリ 副審 ハメド、アラフェゴン

U A E 0 { 0 0 } 0 日本

S後半	前半	前半	後半S
0.....ムフシ(17)G K(20)川口.....0ムフシ(17)G K(20)川口.....0ムフシ(17)G K(20)川口.....0ムフシ(17)G K(20)川口.....0
0.....ハッサンハイル(5)D F(4)井原.....0ハッサンハイル(5)D F(4)井原.....0ハッサンハイル(5)D F(4)井原.....0ハッサンハイル(5)D F(4)井原.....0
0.....イスマイル(6).....(5)小村H...H...2イスマイル(6).....(5)小村H...H...2イスマイル(6).....(5)小村H...H...2イスマイル(6).....(5)小村H...H...2
0.....モハメドオバイド(20).....(17)秋田.....0モハメドオバイド(20).....(17)秋田.....0モハメドオバイド(20).....(17)秋田.....0モハメドオバイド(20).....(17)秋田.....0
0.....ムンテル(3)M F(2)名良橋.....0ムンテル(3)M F(2)名良橋.....0ムンテル(3)M F(2)名良橋.....0ムンテル(3)M F(2)名良橋.....0
2 L H パビド(7).....(28)中西.....0パビド(7).....(28)中西.....0パビド(7).....(28)中西.....0パビド(7).....(28)中西.....0
2.....R Hハッサンハイル(16).....(3)相馬.....0ハッサンハイル(16).....(3)相馬.....0ハッサンハイル(16).....(3)相馬.....0ハッサンハイル(16).....(3)相馬.....0
1...R.....アハメド(18).....(6)山口R...R...3アハメド(18).....(6)山口R...R...3アハメド(18).....(6)山口R...R...3アハメド(18).....(6)山口R...R...3
0.....アリハッサン(19).....(8)中田H...R...2アリハッサン(19).....(8)中田H...R...2アリハッサン(19).....(8)中田H...R...2アリハッサン(19).....(8)中田H...R...2
0.....アデル(23).....(15)森島R...1アデル(23).....(15)森島R...1アデル(23).....(15)森島R...1アデル(23).....(15)森島R...1
2...H...Rズハイル(11)F W(11)三浦城R...LH3ズハイル(11)F W(11)三浦城R...LH3ズハイル(11)F W(11)三浦城R...LH3ズハイル(11)F W(11)三浦城R...LH3
1...R.....モハメドアリ(15).....(18)本城R...1モハメドアリ(15).....(18)本城R...1モハメドアリ(15).....(18)本城R...1モハメドアリ(15).....(18)本城R...1
2...L R ジャシム(21).....(7)本田.....0ジャシム(21).....(7)本田.....0ジャシム(21).....(7)本田.....0ジャシム(21).....(7)本田.....0
1...R.....ハミス(14).....(10)名波L...1ハミス(14).....(10)名波L...1ハミス(14).....(10)名波L...1ハミス(14).....(10)名波L...1
11.....計後半計後半計後半計後半
11.....前後計前後計前後計前後計

代	ハミス(前38)	9	4	5	GK	2	5	7	代	中西(前39)
	バビド(後15)	4	1	3	CK	2	1	3		本田(後21)
	モハメドアリ(後30)	12	7	5	FK	8	5	13		森島(後32)
		0	0	0	PK	0	0	0		
		57%		キープ率		43%				

テーブルの見方 = ⊕ ⊙ ⊖ は位置。R = 右足、L = 左足、H = ヘディング。青色はゴール枠内に飛んだシュート、赤色は得点。 = 浮き球、 = グラウンダー、 = ライナー。() 内は背番号、うち赤色は交代選手。

W杯アジア最終予選 B 組成績と日程 9月18日現在

	日本	韓国	ウズベキスタン	カザフスタン	UAE	勝点	得失	得失差
日本	日本	9月28日 11月1日	6 - 3 10月4日	11月8日 10月4日	10月26日 0 - 0	4	6 3	+ 3
韓国	東ソウル	韓国	2 - 1 10月18日	3 - 0 10月11日	10月4日 11月9日	6	5 1	+ 4
ウズベキスタン	3 - 6 タシケント	1 - 2 タシケント	ウズベキスタン	10月25日 9月20日	9月27日 11月2日	0	4 8	- 4
カザフスタン	東アルマトイ	0 - 3 アルマトイ	タシケント アルマトイ	10月18日 0 - 4		0	0 7	- 7
UAE	東ソウル	ソウル	タシケント アブダビ	4 - 0 アブダビ		4	4 0	+ 4

【注】日程は上がホーム、下がアウェイ



GK川口能活が日本のゴールを守り抜いた。W杯アジア最終予選の第2戦、アウェイのUAE戦で、決定的なピンチに見舞われながら、鋭い飛び出しと的確な判断で好セーブを連発。0-0の引き分けに持ち込んだ。日本は1勝1分けで勝ち点4。次戦は28日、韓国をホーム東京・国立に迎える。日本の守護神はコース、五輪代表時に味わった屈辱を晴らす時を迎える。

小村幻のゴール

痛恨のオフサイド 後半、半右サイドからの中田のFKをゴール左にいた井原がドンピシャでヘッド。そのボールに詰めていた小村が右足を合わせゴールしたが、オフサイドの判定。小村が足を出さなくてもゴールしたかに見えただけに、惜しい日本の攻めであった。

右足一本スーパーセーブ! アウェイで完封価値ある勝ち点1

9月28日
日曜日
1997年
(平成9年)

リードして弱気呂比須外して狂ったリズム

日本びった

28日14時6分 国立競技場 晴れのち曇り 観衆5万7604人 主審 マネイサード 副審 ガダンフアリ、アルヤマス

日本 1 { 0 0 } 2 韓国

後半22分【日】 ⊕10山 口 R
後半39分【韓】 ⊕5 徐正源 H
後半42分【韓】 ⊕21 李敏成 L

S	後半	前半	前半	後半	S
0	川 口(20) G K (1) 金秉址.....	0	0
1 L	相 馬(3) D F (4) 崔英一.....	0	0
0	井 原(4) (5) 李敏成.....	L	1
0	R 小 村(5) (12) 張亨碩.....	0	0
0	中 西(28) (3) 崔成勇.....	0	0
2	R R	名良橋(2) (20) 洪明甫 R R.....	2	2
2	R L	山 口(6) M F (2) 李基珩.....	0	0
0	本 田(7) (6) 柳相鉄.....	L H	3
0	西 沢(27).....	H	0
1 R	中 田(8) (15) 李相潤 H.....	1
0	名 波(10) (11) 徐正源.....	H	1
0	三浦知(11) F W (7) 高正云.....	L H	4
2 R	L 呂比須(30) (14) 金大義.....	R	0
0	秋 田(17) (10) 崔龍洙 H H.....	R R	5

9	計後前	前後計	18
代	名良橋(後1) 18117 G K 4 9 13	代	崔成勇(後13)
秋	田(後28) 3 0 3 C K 2 4 6	徐	正源(後20)
西	沢(後42) 11 5 6 F K 11 9 20	金	大義(後27)
警	呂比須(1) 0 0 0 P K 0 0 0	警	李敏成(1)
小	村(1) 62%キープ率38%	柳	相鉄(1)

テーブルの見方 = ⊕ ⊕ ⊕ は位置。R = 右足、L = 左足、H = ヘディング。青色はゴール枠内に飛んだシュート、赤色は得点。 = 浮き球、 = グラウンダー、 = ライナー。() 内は背番号、うち赤色は交代選手。

W杯アジア最終予選B組成績と日程 9月28日現在

	日 本	韓 国	ウズベキスタン	カザフスタン	U A E	勝点	得	失	得失差
日 本	1 - 2 11月1日	6 - 3 10月4日	11月8日 10月4日	10月26日 0 - 0	4	7	5	+ 2	
韓 国	ソウル 2 - 1 10月18日	3 - 0 10月11日	10月4日 11月9日	9	7	2	+ 5		
ウズベキスタン	タシケント 3 - 6	タシケント 1 - 2	10月25日 11月2日	2 - 3 1 - 1	1	7	12	- 5	
カザフスタン	アルマトイ 東 0 - 0	アルマトイ 0 - 3	10月18日 0 - 4	1	1	8	- 7		
U A E	東 0 - 0	アブダビ 3 - 2	アブダビ 4 - 0	7	7	2	+ 5		

【注】上がホーム、下がアウエー



後半22分、山口の絶妙ルーブシュートで先制したが

国立に悪夢の3分間



後半39分、韓国・崔竜洙からの折り返しを徐正源に頭であわせられ、ボールは無情に川口の上を越えていく

韓国に逆転食う



呆然 続く後半42分、またも韓国・崔竜洙からのパスを中央で受けた李敏成に豪快なミドルシュートを決められ、呆然の日本イレブン

残り5試合日本にはもう全勝しかない

加茂監督解任 新監督に岡田

日本

カザフスタンとまさかのドロー

深夜の緊急会見 試合後開かれた緊急会議で加茂監督の更迭を決定し、記者団に発表する長沼会長（中央）
右は新監督となった岡田コーチ。左は大仁強化委員長



日刊スポーツ
NIKKAN SPORTS

10月4日
土曜日
1997年
(平成9年)

ロスタイム...またしてもロスタイム

4日16時 アルマトイ・セントラルスタジアム
晴れ 観衆1万人 主審 タジャディン 副審
エルディン、ムアメン

カザフスタン 1 { 0 1 } 1 日本

前半22分【日】ⓐC名波 ⓑ5 萩秋 田H
後半44分【カ】ⓐイフエフ ⓑ10 萩ズバレフH

S	後半	前半	前半	後半	S
0	萩秋イフ(1)	G K (20)川	口.....	0
1	R サドフ(2)	D F (4)井	原.....	0
2	H Lフエフ(3)	(5)小	村.....	H... 1
1	Hスパシエフ(4)	(17)秋	田H.....	1
0	0
1	Rファミル(15)	0
2	Rバルティエフ(6)	M F (2)名良橋.....	0
1	Rコトフ(7)	(3)相馬R.....	1
0	(6)山口R.....	1
0	(8)中田.....	R R 2	0
0	(10)名波L.....	L... 2	0
2	R Rトリビニコ(10)	(7)本	田.....	0
0	0
4	H H	ズバレフ(17) F W(11)三浦知.....	R L 2	0
	R L	(30)呂比須H R	R L 6	0

14 計後前 前後計 16

代 ロギノフ(後13)16 8 8 G K 8 1018代 本 田(後39)

イフエフ(後17) 6 2 4 C K 3 4 7 警 秋 田(1)

スパシエフ(後27)26 12 14 F K 12 1022 小 村(2)

0 0 0 P K 0 0 0

52%キープ率48%

テーブルの見方 = ⓐⓑⓓは位置。R = 右足、L = 左足、H = ヘディング。青色はゴール枠内に飛んだシュート、赤色は得点。 = 浮き球、 = グラウンダー、 = ライナー。()内は背番号、うち赤色は交代選手。

4年前と同じ.....また追いつかれフランスは遠のく

勝てない

守れない

日本代表の加茂周監督(57)の更迭が決まった。カザフスタン戦で10でリードしながらも、後半ロスタイムに同点ゴールを喫し勝利を逃した。試合後に日本協会の首脳が現地で緊急会議を開き、新監督に岡田武史(ヘッドコーチ(41))が昇格した。日本の通算成績は1勝1敗1分。W杯出場は厳しくなったが、この新体制で二纏(いちぢり)の望みにかける。

W杯アジア最終予選B組成績と日程 10月4日現在

	日本	韓国	ウズベキスタン	カザフスタン	U A E	勝点	得	失	得失差
日本	日本	1 - 2 11月1日	6 - 3 10月11日	11月8日 1 - 1	10月26日 0 - 0	5	8	6	+ 2
韓国	ソウル	韓国	2 - 1 10月18日	3 - 0 10月11日	3 - 0 11月9日	12	10	2	+ 8
ウズベキスタン	タシケント	タシケント	3 - 6 1 - 2	10月25日 1 - 1	2 - 3 11月2日	1	7	12	- 5
カザフスタン	1 - 1 東京	アルマトイ 0 - 3	1 - 1 タシケント	10月18日 0 - 4	2	2	9	- 7	
U A E	0 - 0 東京	アブダビ 0 - 3	アブダビ 3 - 2	4 - 0 アルマトイ	7	7	5	+ 2	

【注】上がホーム、下がアウェイ

絶叫！ロスタイムで同点に追いつかれ、試合終了後悔しさのあまり絶叫する川口。右はなぐさめる秋田。後方は小村

後半呂比須 中田投入 最後は秋田上げ4 トップで見たゴールへの執念

残り1分、ゴールへ

やっと

10月11日
土曜日
1997年
(平成9年)

ウズベキと1-1ドロー

情けねえ 日本



見方と位置をランダムに選べた選手は海がなだ

11日17時 タシケント・パフタコールスタジアム 晴れ 観衆4万人 主審 ムジャリ 副審 アブドゥラ ハッサン

ウズベキスタン 1 { 1 0 } 1 日本

前半31分【ウ】 ⊕20カマバリエフ L
後半44分【日】 ⊕井原 ⊕17呂比須 H

S 後半	前半	前半	後半 S
0 ブガロ(1) G K (20) 川口 0 0
0 アシウルストフ(2) D F (4) 井原 0 0
0 フヨ-ドルフ(3) (16) 齊藤 H 1 1
1 R カマバリエフ(5) (30) 呂比須 H 2 2
		(17) 秋田 R 2
2	R L カシモフ(4) M F (2) 名良橋 0 0
1 ... L	バザロフ(12) (3) 相馬 0 0
1 L シルショフ(6) (6) 山口 R 2 2
0 シェイマルダフ(14) (10) 名波 L 1 1
1 L マリアリエフ(7) (28) 中西 0 0
2	R R レベデフ(8) (8) 森島 R L 2 2
0 ヒルマトフ(9) (10) 中田 R 1 1
1 R ショクイリン(10) F W (28) 三浦知	R L H 4
3 R R R シャツィフ(20) L
0 マタリエフ(11) (18) 城 R 1
12	計後前 前後計	16	16

代 バザロフ(後1) 9 4 5 G K 4 2 6 代 中 田(後8)
 シェイマルダフ(後10) 4 2 2 C K 5 4 9 呂比須(後8)
 マタリエフ(後39) 27 10 17 F K 11 6 17 中西(後34)
 警カマバリエフ(1) 0 0 0 P K 0 0 0 警井原(2)
 レベデフ(1) 山 口(1)
 中 西(1)

60%キープ率40%
 テーブルの見方 = ⊕ ⊕ ⊕ は位置。R = 右足、L = 左足、H = ヘディング。青色はゴール枠内に飛んだシュート、赤色は得点。 = 浮き球、 = グラウンダー、 = ライナー。() 内は背番号、うち赤色は交代選手。

呂比須同点ヘッド 後半44分、井原の自陣からの60mのロングボールを相手ディフェンダーと競りながら頭に合わせた呂比須。ボールはこのままキーパーの股間を抜けゴールインした切り込み写真は試合後、日本サポーターに深々と頭を下げる日本イレブン

日本のW杯出場への夢が遠のいた。岡田武史新監督の下で、白星スタ！トを目指した日本代表だが、決定的チャンス逃し続け、逆に前半31分にウズベキスタンに先制点を許した。終了間際の後半44分にFW呂比須がゴールのゴールで同点に追いついた。結局1-1で引き分け。4試合連続で勝利を逃し、最終予選1勝1敗3分でB組3位のまま、W杯自出場の可能性も消滅した。

	日本	韓国	ウズベキスタン	カザフスタン	U A E	勝点	得失	得失差
日本	●	1 - 2	6 - 3	11月8日	10月26日	6	9 7	+ 2
韓国	●	●	1 - 1	11月1日	10月18日	13	11 3	+ 8
ウズベキスタン	●	●	●	10月18日	10月25日	2	8 13	- 5
カザフスタン	●	●	●	●	10月18日	3	3 10	- 7
U A E	●	●	●	●	●	7	7 5	+ 2

【注】上がホーム、下がアウェイ

11月1日
土曜日
1997年
(平成9年)

川口体で止めた



勝った!!ソウルで韓国に勝った!!

日本もついに1勝

奇跡の1勝奇跡へ1勝さあ8日国立は再び燃える

名波先制 呂比須がフランスへまた夢つなく予選3連発

カズ、呂比須抜きで最終カザフ戦

1日15時7分 ソウル・蚕室五輪スタジアム
晴れ 観衆7万人 主審 エステファンディエ
副審 ポール、レヴェオン

韓国 0 { 0 2 } 2 日本

前半1分【日】Ⓞ呂比須 Ⓞ13名波 L
前半37分【日】Ⓞ相馬 Ⓞ3名呂比須 L

S	後半	前半	前半	後半	S
0	金秉址(1)G K	(20)川口	0
0	崔英一(4)D F	(2)名良橋R	2
1	李敏成(5)	(3)相馬R	1
0	張大一(19)	(4)井原H	1
0	李基珩(2)M F	(6)山口R	2
3	R L 柳相鉄(6)	(8)中田L	1
0	R	(10)名波L	2
0	高正云(7)	(13)北沢L	1
3	HH 李相潤(15)	(22)平野	2
1	R		
1	R	金基東(8)	
1	R	徐正源(11)	
1	L	盧相來(16)	
2	R L	河錫舟(17)	
0		崔龍洙(10)F W	(11)三浦知	RR 2
2	RR	金度勲(18)	(30)呂比須	RR... 5

14	計後前	前後計	19
代 金度勲(前44)	15 4 11	G K 3 4 7	代 平野(後25)
李相潤(後0)	4 3 1	C K 1 2 3	
盧相來(後14)	16 11 5	F K 8 1 1 1 9	
警 崔英一(2)	0 0 0	P K 0 0 0	警 三浦知(2)
李基(1)			呂比須(2)
退 崔英一(後35)			
48%キープ率52%			



W杯アジア最終予選B組成績と日程					11月1日現在		
	日本	韓国	ウズベキスタン	カザフスタン	UAE	勝点	得失差
日本	1-2	6-3	11月8日	1-1	10	12	+4
韓国	0-2	2-1	3-0	11月9日	16	16	+10
ウズベキスタン	1-1	1-5	4-0	2-3	5	13	-5
カザフスタン	1-1	1-2	1-1	1-1	6	6	-8
UAE	0-0	0-3	4-0	0-3	8	8	-1

【注】上がホーム、下がアウェー

揺れた日の丸の前半37分、相馬を左足でゴールに蹴りこんだ呂比須は、カズ(3)と抱き合っ

ぶ。左上は韓国ゴールキーパーが、右は前半1分、先制のゴールを挙げる名波。背景写真はソウル五輪スタジアムにひるがえる日の丸。

ゴン炎のヘッド

日刊スポーツ

NIKKAN SPORTS

11月8日
土曜日
1997年
(平成9年)

カザフに大勝

高木も決めた



背中に見えるのは... 前半44分、名波FKに頭から飛び込んで決めた中山。この一発の男のゴールでフランスは、W杯はすぐそこまでやってきた。そして後半23分には井原が右足、後半34分には高木がヘッドでゴールを決め、ドーハの悲劇を知る3人の男たちの活躍で、B組2位を確定した。



ドーハの悲劇はもう起こらない!

2度の絶望からついに、さあみんなでフランスへ行くんだ

井原も決めた



B組2位確定 16日マレーシアで決める!

8日19時6分 国立競技場 晴れ 観衆5万6032人 主審 ファンデルエンテ 副審 ドルストラ、ターレンス

日本 5 { 3 0 / 2 1 } 1 カザフスタン

前半11分【日】Ⓞ中 田 Ⓞ5 萩秋 田H
前半16分【日】Ⓞ相 馬 Ⓞ13 萩中 田L
前半44分【日】ⓄF 名波 Ⓞ4 萩中 山H
後半23分【日】ⓄC 名波 Ⓞ7 萩井 原R
後半26分【カ】 F K Ⓞ18 萩エフエフR
後半34分【日】Ⓞ相 馬 Ⓞ5 萩高 木R

S	後半	前半	前半	後半	S
0	川 口(20) G K	(22) イシュチン	0
1	R 名良橋(2)	D F (2) サドコフ	0
1	... R	中 西(28)		0
0	相 馬(3)	(4) パリシェフ	0
1	... R	井 原(4)	(5) オシポフ	0
1	H 秋 田(17)	(15) ファミルツェフ	L 1
0	山 口(6) M F	(6) バルティエフ	R 1
5	R R	L L 中 田(8)	(7) コトフ	R 1
2	R L	名 波(10)	(20) チョツツキン	0
3	... R	H L 北 沢(13)	(14) エフエフ	R ... 1
1	... R	森 島(15)	(16) スベニコフ	0
			(12) コリスト	0
2	... L	H 城 (18) F W	(11) ロギノフ	L ... 1
5	... L	H H 中 山(32)	(17) ズバレフ	R 2
		H R	(8) マズバエフ	0
4	R L	高 木(9)		0
	H R			0

26	計後前	前後計	7
代 中	西(後19) 1 1 0	G K 11 4 15	代 マズバエフ(後18)
高 木	(後20) 7 4 3	C K 0 0 0	ユリスト(後32)
森 島	(後37) 17 9 8	F K 11 8 19	チョツツキン(後37)
警 名良橋	(1) 0 0 0	P K 0 0 0	警 サドコフ(1)
		76% キープ率	24% マズバエフ(1)

W杯アジア最終予選B組成績と日程 11月8日現在									
	韓国	日本	UAE	ウズベキスタン	カザフスタン	勝点	得	失	得失差
1	韓国	2-1	3-0	2-1	3-0	16	16	6	+10
2	日本	1-2	1-1	1-1	6-3	13	17	9	+8
3	UAE	0-3	0-0	0-0	4-0	9	8	9	-1
4	ウズベキスタン	1-5	1-1	2-3	3-2	6	13	18	-5
5	カザフスタン	1-1	1-1	3-0	1-1	6	7	19	-11

【注】上がホーム、下がアウェイ

胸に秘めた11番 ゴールを決めた後、めくった中山のユニホームの下からは11番が...。32番は出場停止のカズと一緒に戦っていた

さあみんなて胸張ってフランスへ行こう 11月16日 日曜日 1997年 (平成9年)

日刊スポーツ

NIKKAN SPORTS

最強イラン倒しついでに日本を倒した

岡野歴史的

Vゴール



日本

ゴン先制も後半逆転され...しかし城が執念の同点ヘッドそして118分!!

W

逆転

決めた初出場

16日22時4分 ジョホールバル(マレーシア)・ラルキンスタジアム 曇り 観衆2万人 主審 マニユエル 副審 ホアキン カルロス

日本 3 $\left\{ \begin{matrix} 1 & 0 \\ 0 & 2 \\ 0 & 0 \\ 1 & 0 \end{matrix} \right\}$ 2 イラン

前半40分【日】Ⓞ中 田 Ⓞ10 中 山 L
 後半1分【イ】Ⓞ1 城 アジジ L
 後半14分【イ】Ⓞモトラグ Ⓞ2 城 ダエイ H
 後半31分【日】Ⓞ中 田 Ⓞ8 城 H
 延後14分【日】Ⓞ5 岡 野 R

S	延後	延前	後半	前半	前半	後半	延前	延後	S
0	川 口(20)	G K (1)アバドザー	0
1	...R	名良橋(2)	D F (4)ハクブル	L	1
0	相 馬(3)	(5)ベイラバニ	0
1	R	井 原(4)	(15)アザディ	0
2	H	秋 田(17)	(25)ミナバンド	R	1
		H		M F (2)マハダビキア	R	1
1	R	山 口(6)	(7)マンリアン	L	1
7	...R	RR	L	中 田(8)	(17)モディスタ	0
		L	R		(8)モトラグ	0
2	...L	L	名 波(10)	(9)エステリ	0
4	...L	RR	R	北 沢(13)	(24)ザリンチ	0
		R		(20)バシャルザ	0
4	...R	RR	岡 野(14)		0
		R	0
2	RR	三浦知(11)	F W (10)ダエイ	R R	H	7
7	...H	RL	城 (18)	(11)アジジ	L R	3
		RH			L R	3
		HH	0
2	...H	L	中 山(32)		0
2	...L	H	呂比須(30)		0

代	計延後前	前後延計	代	計延後前	前後延計
城 (後19)	9 1 3 5	G K 8 11 7 26	代 ミナバンド	9 1 3 5	G K 8 11 7 26
呂比須(後19)	9 3 6 0	C K 4 0 1 5	モディスタ	9 3 6 0	C K 4 0 1 5
岡野 (延前)	35 9 9 17	F K 12 0 3 15	バシャルザ	35 9 9 17	F K 12 0 3 15
警 井 原(1)	0 0 0 0	P K 0 0 0 0	警 アザディ(2)	0 0 0 0	P K 0 0 0 0

世界へ咆哮 延長戦から投入された岡野は、延長後半13分、中田のシュートをキーパーがはじいたこぼれ球を押し込みVゴール。雄叫びをあげた。上はついにフランス行きをきめ大喜びの日本イレブンとスタッフ